

環境調査結果のお知らせ

令和7年6月20日9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しました。

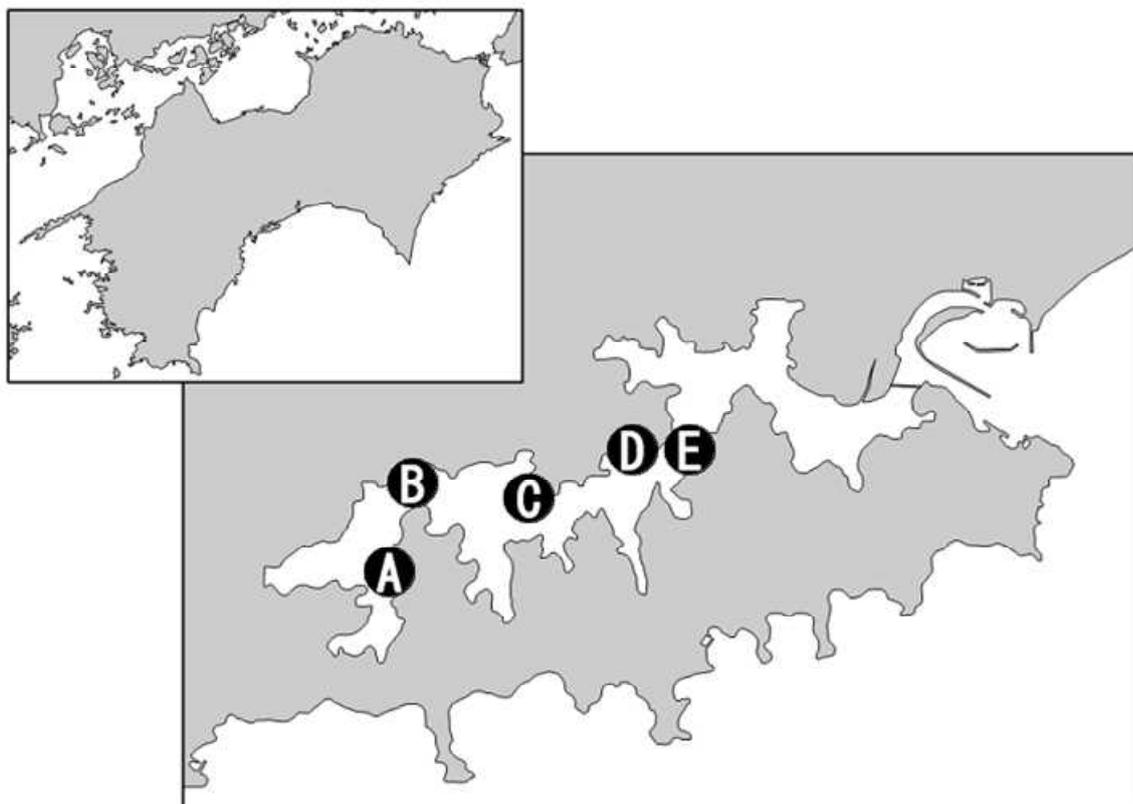
概況

検鏡の結果、魚類に対して有害なディクチオカ属が最高で100 cells/mL、ケラチウム属が最高で85 cells/mL確認されました。ディクチオカ属は5,000 cells/mL以上で養殖魚へい死のおそれがあり、ケラチウム属は100 cells/mL以上で、養殖魚の餌食い悪化が懸念されます。

表層水温が30°C付近に達している地点が散見されるため、十分に注意してください。また、すべての調査点において底層が、鳴無と光松を除く定点では底層に加えて10 m層が貧酸素状態になっていますので注意してください。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

調査点 (透明度) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン		
	深度	水温	塩分	溶存酸素	ディクチオカ	ケラチウム	珪藻
	(m)	(°C)		(mg/L)	属	属	
A 鳴無 (5.1m) 【09:23】	0	28.0	20.5	9.1	0	0	-
	2	26.8	28.9	12.1	0	6	-
	5	24.4	30.0	9.2	2	28	-
	底層 8	24.0	30.8	3.1	70	49	-
B 中学校前 (5m) 【09:30】	0	29.1	23.2	10.1	0	0	1,200
	2	26.0	28.5	12.1	0	12	100
	5	23.5	29.9	9.1	0	21	10
	10	23.5	31.0	2.7	100	57	70
	底層 11.5	22.9	31.2	0.8	5	85	60
C 目ノクソ (5.1m) 【09:30】	0	29.1	23.2	10.1	0	0	-
	2	26.0	28.5	12.1	0	2	-
	5	23.5	29.9	9.1	32	43	-
	10	23.5	31.0	2.7	1	37	-
	底層 11.5	22.9	31.2	0.8	0	2	-
D 光松 (5.2m) 【09:57】	0	28.7	22.4	8.6	0	0	450
	2	24.9	28.8	10.4	0	0	40
	5	23.6	29.8	6.8	0	22	40
	10	22.8	31.0	3.7	0	9	60
	底層 16	22.1	31.7	0.1	0	0	50
E 大鹿 (5.5m) 【10:04】	0	27.9	25.0	9.8	0	0	-
	2	25.0	28.8	9.5	0	0	-
	5	23.6	29.9	6.7	40	26	-
	10	22.8	31.0	3.3	0	1	-
	底層 16	22.1	31.7	0.2	0	0	-



- A: 鳴無 D: 光松
 B: 中学校前 E: 大鹿
 C: 目ノクソ

参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準 (※1)	警戒基準 (※2)	主な赤潮発生時期 ※3		
				浦ノ内湾	野見湾	宿毛湾
<i>Karenia mikimotoi</i> (カレニア・ミキモトイ)	魚類等のへい死	100 cells/mL	1,000 cells/mL	5～8月	6～8月	—
<i>Chattonella</i> spp. (シャットネラ属)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	6～8月	—	—
<i>Cochlodinium polykrikoides</i> (コクロディニウム・ポリクリコイデス)	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	—	2～4月	5～6月
<i>Heterosigma akashiwo</i> (ヘテロシグマ・アカシオ)	魚類等のへい死	5,000 cells/mL	50,000 cells/mL	3～12月	4～8月	4～11月
<i>Dictyocha</i> spp. (ディクチオカ属)	魚類等のへい死	—	5,000 cells/mL	6～7月	4月	—
<i>Takayama</i> spp. (タカヤマ属)	魚類等のへい死	—	10,000 cells/mL	8～9月	—	—
<i>Ceratium</i> spp. (ケラチウム属)	魚類の餌食の悪化	100 cells/mL	—			
<i>Heterocapsa circularisquama</i> (ヘテロカプサ・サーキュラリスカーマ)	二枚貝のへい死	—	500 cells/mL	8～11月	—	—
<i>Alexandrium</i> spp. (アレキサンドリウム属)	二枚貝の毒化	10 cells/mL	100 cells/mL	—	1～4月	3～5月
<i>Gymnodinium catenatum</i> (ギムノディニウム・カテナータム)	二枚貝の毒化	—	1 cell/mL	—	—	2～7月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。